

3月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 8 年 3 月 1 日	実施区間	19.0km ~21.0km (右岸)

美矢井橋の下に広がる砂と草木の河原 横幅は100数十メートル 雨不足の影響か？ 干上がった矢作川の姿に驚き



①大きく広がる砂と草木の河原(上) 《 美矢井橋上から上流に向かって撮影》

雨量の低下によってかなり干上がっていた(下の写真:左岸側の方が水量が多かった)

雨水の対策は万全に

3月2日(月)、モニタリングに行きました。まとまった雨が降らないため、東三河地方では「水不足」というニュースが報じられていました。

ここ矢作川の流量も、かなり少なくなっていました。美矢井橋の上から見た矢作川は、砂地の河原が広がっていました。歩数にして200歩以上ですから、流水の幅が極めて狭くなっていました。

美矢井橋の右岸を少し歩くと、堤防の外に写真のようなコンクリートブロックが大量に置いてありました。自然相手の対策は、万全を尽くすことが大切です。



② 美矢井橋下流の右岸の堤防外にコンクリートブロックがたくさん置いてあった。

「災害時の緊急資材として準備」という説明が表記されていた